



高校合格体験記

(夏期講習編)

★M・H君 我孫子教室 中3 S1コース在籍

(進学先) 県立東葛飾高校

僕は、創学舎の数学の副教材のおかげで、数学がよりできるようになりました。数学の点数があまりとれなかったので、夏休みから副教材をやっていたら、数学の点数がとても上がりました。夏休みは塾のある日に一日一章解き、それ以降も続けていたので、数学が得意になりました。

また、理科と社会のマイクリアもとても役に立ちました。特に理科のマイクリアは宿題で出される量が多く、やるのがとても大変だったけれども、繰り返しやっているとうちに理科の力がどんどん付いてくるので、理科でも点数が取れるようになりました。

★S・Mさん 新松戸教室 中3 Sコース在籍

(進学先) 県立小金高校

私は中三の夏から創学舎に入りました。それまでは家で全然勉強していなかったのですが、入ったからは、宿題がたくさん出されるので、勉強するようにになりました。そうしたら、どんどん成績が上がっていきました。

また、私は最初英語が嫌いで、長文なんて何が書いてあるか全然わかりませんでした。でも、副教材やテキストをやりこんだことで、今では、英語が得意科目になりました。

勉強は、いくらやっても伸びない時期があると思います。でも、そんなときこそ気合を入れて勉強してください。絶対に伸びる時期がくると思います。入試までの時間は限られているので、時間を無駄にせず、頑張ってください。

★O・Mさん 新松戸教室 中3 Sコース在籍

(進学先) 県立柏南高校

私が一番印象に残っているのは、夏期講習です。前から聞いていたとおりとても忙しく、元々あまり勉強をしていなかった私にはとても辛かったです。しかし、授業内容はとても充実していて、長い時間塾にいるのにあつという間に終わってしまいました。また、副教材が配られ、苦手だった数学も何度も質問しながら、少しずつ苦手をつぶしていくことができました。その後、模試の結果で数学が伸びていてとても嬉しかったし、もっと頑張ろうという気持ちになれました。

★O・Kさん 柏教室 中3 Sコース在籍

(進学先) 県立柏高校

中三の夏、部活が忙しくなり成績が落ち込んでしまったのをサポートしてくれたのが、創学舎の先生方でした。授業では、苦手な部分を力がつくまで指導してくれたり、入試に出やすい傾向を対策してくれたりすることで、確実にレベルアップすることができたと思います。その他にも、先生との面談はとても手厚く自分を見直すきっかけにもなりました。

また、同じ目標をもつ仲間と共に勉強をすることで自分を高めることができたと思います。特に、私の場合は中三の夏に受験に対する気持ちが下がってし



まったのですが、まわりのみんなの頑張る姿を見て気持ちを立て直すことができました。そして、勉強により励むことができました。

創学舎での学習は私自身を成長させてくれました。高校でも自分の目標に向かって頑張りたいです。今までありがとうございました！

備えあれば憂いなし

●四月に新学期がはじまり、あつという間に大変な期末試験が終わり、気付けばもうすぐ夏休み。新しいクラスにも慣れて、夏休みを楽しみにしている人も多いのではないかと思います。私も学生の頃は一年の中で夏休みが一番好きでした。なんていって休みが長い。そして、その休みの中に花火大会やお祭りといったイベントが目白押しなので、毎年六月頃から夏休みを楽しみにしていました。



●私は高校二年生の夏休み前であることを思いつかしました。「そうだ！今年夏休みを百パーセント満喫するために、前もって毎日の計画を立てよう！」そう思いついでからの私は、夏休みの間の計画を一日単位で、表に事細かに書き込んでいきました。そして、夏休みが始まってからは計画どおりに遊びに遊びました。結果として夏休みの間、家に帰る日が一週間ほどしかなかったため、夏休み最終日に親から説教を受けることになりました。しかし、私は少しも後悔しませんでした。むしろ計画どおりにやりきることができたという達成感に満ち溢れていました。

●唯一の反省点は、計画の中に学習する時間を全く入れなかったことでした。夏休み明けに行われたテストは悲惨な結果に終わり、先生には「どうした？やる範囲でも間違えたか？」と皮肉を言われる有様でした。私はこの経験から三つのことを学びました。

*一つ目は計画を立てると見通しがよくなり、行動がしやすくなるということ。

*二つ目は計画どおりに行動できたときの達成感はずっと素晴らしいものであるということ。

*そして三つ目はバランスよく予定を立てないと後々困るとのことです。

●さて、みなさんもこれから夏休みに入ります。夏休みは普段の生活と異なり、自由な時間がたくさんあります。計画を立てずにいると、あとどれぐらいやれば課題(勉強でも遊びでも)が達成できるかがわかりにくくなり、必要以上に焦ってしまったり、逆にだらけてしまったりするので無駄な時間を過ごしてしまいます。

ですから、みなさんにもこの期間の計画をしっかりと立ててもらいたいと思います。夏休みで遊びや部活だけに専念したくなる気持ちもよくわかりますが、その一方で学習の計画を立てることが必要なのは私の夏休みの経験からお分かりいただけたでしょう。そう言われても、どう学習の計画を立てればいいのかかわからないという人もいます。と思います。そんなときはいつでも相談しにきてください。

学習計画表

日	月	年	科目	時間	内容
..
..
..
..
..

●しっかりと計画を立て、二学期への準備をしながら快適な夏休みを過ごしてもらえればと思います。(服部)

子育て奮闘記⑥

そろそろ梅雨入りしそうな時期。金曜日の朝は雨が降っていた。「明日にはやむかなあ……」

明日は運動会だ。六年生の長女にとって、小学校最後の運動会となる今年。来年は運動会のプログラムも、息子の分だけになってしまおうと思うと、少し寂しい気持ちも出てくる。

土曜日の朝。「パパ起きて〜。」外を見ると雨は降っていない。太陽は出ておらず、少し涼しい。「ちよんどのいいね。」毎年私の仕事は、場所取りである。どこのご家庭においても、父親というのはきつとそうだろうか。朝早くから両手に荷物を持ち、校門前から長い行列を並び、家族のためによりよい場所を確保する。私も敷物、イス、簡易テントとテントを持って校庭に向かう。

少し前に、ネットで「運動会のテントがまるでフェスのようだ」と話題になっていたようだが、ご存知だろうか。学校や地域によっても違うだろうが、我が子の小学校の場合には、校庭の端にあるテントゾーンの中に限りテントが許されている。

このテントゾーンには、ちよんとしたキャンパス場なみにテントが並ぶ。年々、テントの数が増えているような気がする。長女が一年生の最初の運動会、ごく一般的な敷物しか持たずに出掛け、テントやテーブルセットなどを持ってくる周囲の状況に、衝撃を受けた。だが、校庭で炎天下六〜七時間を過ごし、来年には一歳前の赤ちゃんを連れてくることになるのだから、うち

も用意したほうがいいかな、ということでも翌年テントを購入。そこからは、簡易テーブルはほしい



ね。チェアがあった方がいいね。チェアにも傘がついているといいね。といった具合に、順調に年々運動会グッズが増えていくことになる。おかげで、自分の子どもたちの出番のときは、カメラを持ってトラック周りに集まり、終わるとテントでひと休み。快適な運動会を楽しむことができる。

七時半の開門に合わせて行くともうすでにテント群ができています。「しまった。」急いで空いているスペースを探す。この場所取りはちよんとした物件選びだ。通路最前列に陣取ると見晴らしは良いが人通りが多くて落ち着かない。また、あとからやってきたテントが大きいと途端に見晴らしが悪くなる。そんな不安の中、今年もグッドポジションをゲット。テントの設営を済まして今年も父親として一つの役目は果たした。

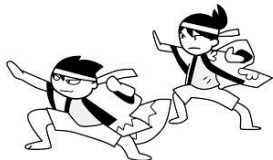
足に自信のある長男にとって「かけっこ」は最大の見せ場だ。勢いよく飛び出し二番手か三番手くらいでカーブにさしかかり、トラックの直線の手前で急に視界から消えた。見事に転んでしまったのである。日頃からふとしたことですぐに泣いてしまう息子だ。きつと去年までであれば、泣きながら残りを走ったことだろう。ところがどうだ。今年は驚くほど素早く立ち上がり、泣きもせずゴールを目指す。ビリである六番の旗の後ろに、少し恥ずかしそうに座っている。相変わらず泣き虫だな、なんて普段思っていたが、そんなことはない。ちゃんと息子は息子のペースで成長しているのだ。少し、じんときた。午後の我が家にとつてのメインイベントの一つが、息子のソーラン節だった。この小学校では毎年必ず小三はソーラン節を踊る。クラスの大きな旗を作り、みんなお揃いの黒のはつぴを



きて、赤いハチマキを頭に巻いて、一斉に踊る様はとてもカッコいい。恥ずかしがり屋の息子は、絶対に家で踊ることはなかった。宿題でソーラン節が出ていても、だ。息子いわく「本番ちゃんとやるから、見て。」とのこと。心から楽しみにしていた。

ところが、午後お弁当を家族揃って食べた後。お腹もいっぱい、朝も早いで、ついテントでうとうとしてしまう。疲れているのだろうと、寝かせてくれた妻の優しさは仇となる。ビデオ撮影のためテントを離れる妻。気付かず一人テントに残され眠りこけている私。そのままソーラン節が終わるまで、私はすっかり眠ってしまったのである。快適なテントというのも困りものだ。とテントのせいにしてしまおう。

毎年、必ず運動会が終って家に帰ると、撮ったビデオを確認する。プログラムの順番で次の準備に入っていたせいで、姉弟のものを見逃してしまつたため、子どもたちも嬉しそうに見える。息子が転んだ場面、「だって〇〇くんの足が引掛かっただんだもん。」なんて言い訳をする息子も可愛い。「泣かずにちゃんと最後まで走れて偉かったな。」と褒めてやる。そして見逃したソーラン節。事前に渡されている子どもたちの配置図から「一組だったらここで、あの子は背も真ん中あたりだからきつとこのあたり」と検討をつけて撮影位置についていた妻。見事に息子を画面の真ん中で捉えている。きつと自分だったらこうはいかない。母親のこういう勘というの、なぜこうも当たるのか。寝ていて見逃してしまったが、家でじっくり楽しむことができた。



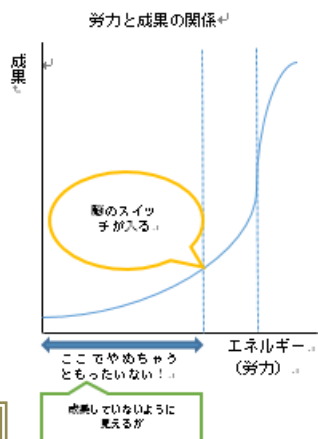
きて、赤いハチマキを頭に巻いて、一斉に踊る様はとてもカッコいい。恥ずかしがり屋の息子は、絶対に家で踊ることはなかった。宿題でソーラン節が出ていても、だ。息子いわく「本番ちゃんとやるから、見て。」とのこと。心から楽しみにしていた。

「努力が報われない時期」があり、ある日突然「スイッチが入り」、今度は「急激に伸びていく。」

●大してやらなかった自分が、少しやるようになって、順調に伸びていく。勉強をがんばったことがない人は、こんな甘いことを考える。ウソ!

●きちんとしたやり方で、毎日続ける。くり返す。高三生が血尿がでるくらいやる。最低二ヶ月。これが努力が報われない時期でがまんがまんがまんこの時期は、勉強に向けた頭の回路、英語や数学などに向けた回路を作る作業と基本的な知識を頭に入れる作業の時期。

●がんばったことがない人は、この時期をがまんできない。「やっているけど伸びない。」「やっぱりダメだ。」とあきらめてしまつことも多い。でも、非常にもつたない話で、ここをのりこえたとき、頭の回路が出てきて、知識が定着し、「いける!」とスイッチが入ってくる。そこからは、急激に勉強が進む。



●さあ、この夏、やろう。高三生は血尿がでるくらいに。そして、新しい自分と会おう。

(小林)

▼▲継続希望の方へ▲▼
▶退塾や転校等で創学舎を離れた方にも、ご希望があれば創学舎ニュースを無料でお送りいたします。
▶在籍していた教室までご連絡ください。